

# レイケアニュースレター Laycare

株式会社 レイケアセンター  
Pharma create  
ファーマクリエイト

<http://www.laycare.co.jp>

VOL.29



## 大人の学習Ⅱ

### 革の話

#### Lesson1

#### タンナー

「タンナー」という職業を御存知の方は果たしてどのくらいいるのでしょうか。

タンナーとは皮革製造に従事する仕事、『皮から革を作る』仕事です。

「皮」は「鞣されていない、毛の着いた状態の生の表皮」、「革」は「皮を鞣して腐ったり硬くなったりしないように加工したもの」なので、この両者は全く違うものなのです。鞆や革小物を作成するためには欠かせない、縁の下の力持ち的存在です。動物から取った表皮を使いやすい「革」に加工するために必要な作業が「鞣し(なめし)」です。英語でこれを“tan”と言うため、皮革製造業者の事を“tanner”と呼ぶわけです。動物から剥いだ生皮は彼らによって鞣され、そして革になります。しかし彼らの多くは鞣師の基本工程を踏襲するだけにとどまらない、そこには、鞣しから色づけに至るまで、それぞれのタンナーが試行錯誤の結果、編みだし大切に伝えてきた秘伝のレシピが存在します。

# 世界のタンナー

## アメリカ合衆国 ホーウィン社 コードバン

牛革や馬革の原皮供給国の大手であるアメリカ合衆国。さらにヨーロッパからの移住が多く、皮革技術も各国から伝承されてきています。そのため、国のあちこちに大小のタンナーが存在します。その中でもひととき目立つのがホーウィン社です。様々な鞣師の技術をもつロシア系移民のタンナーで、彼らが作るコードバンは堅牢でありながら柔らかいのが特徴です。ちなみにコードバンは農耕場の臀部からとれる革で、主に靴、鞆、財布などに使用されています。

## 日本 藤岡勇吉本店 ディアスキン

創業 120 年余年の歴史を誇る藤本勇吉本店は、剣道や弓道などの武具などで使用されるディアスキン(鹿革)を「素上げ」というなめしの技術で仕上げる。

鹿革は歴史がとて長く、1300 年前から使用されていました。軽くて丈夫、柔らかい特徴を持った鹿革は、古くからごく自然に生活の中に取り入れられてきました。江戸時代になると武家や庶民の間で巾着や煙草入れ、火消しの革羽織、頭巾など、人々の生活を彩るアイテムとして利用されていました。

## フランス デュピイ社 カーフ

フランスのデュピイ社は、カーフ(牛革)のエキスパートと言われ、創業は 1948 年になります。デュピイのボックスカーフは、かの有名ブランドエルメスに採用されている事でも知られています。最高級の牛の皮を独自の製法でなめし、他の革メーカーを驚かすほどのツヤと、きめの細かさを生みだしています。デュピイ社はタンナーの最高峰と称されています。

## イギリス コノリー社 カーフ

イギリスのコノリー社は、ロイヤルファミリーも御用達の革メーカーとして有名です。創業は 1878 年になります。耐摩耗性、耐水性抜群のカーフ(牛皮)が高い評価を得ていて、ロールスロイスやベントレーなどの世界中の高級車、さらにはスポーツカーの内装に使われています。

なめす

鞣とは

漢字の現す通り、革を柔らかくすることですが、鞣しの起源は古く、すでに原始の人々は捕らえた動物の内臓に皮を浸けるという、初期の鞣しかたを実践していたとされ、彼らが纏う(まと)う動物の毛皮こそ、現代に続く稀有なマテリアル“革”の歴史の第一歩なのでしょう。

彼らは革で己の体を包み、道具をいれる袋として使用していました。その、鞣しの発見により人々はさらに煙で燻す、植物のタンニンに浸けるなど、さまざまな方法を経験し、効果のあった方法を極めていきました。

※タンニン:植物の葉などに含まれるポリフェノールの総称で、皮をなめし(tanning)で革にするのに使われたことからタンニンと呼ばれています



参考文献:「革の基礎知識」ほか

株式会社レイケアセンター  
〒541-0054 大阪市中央区南本町 4-2-10 本町永和ビル 8 階  
06-6245-7441  
東京レイケアセンター  
〒163-0809 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 9 階東  
03-6279-0840

レイケアニュース編集室  
今月のレイケアニュースはいかがでしたでしょうか。  
ご意見ご感想をお寄せ下さい。  
「レイケアニュース編集室」  
[Info@laycare.co.jp](mailto:Info@laycare.co.jp)